



Cisco Catalyst IW9167E および IW9165 アクセスポイントの概要

• [Cisco Catalyst IW9167E および IW9165 アクセスポイントの概要 \(1 ページ\)](#)

Cisco Catalyst IW9167E および IW9165 アクセスポイントの概要

Cisco Catalyst IW9167E の概要

Catalyst IW9167E アクセスポイントは、最先端のプラットフォームでミッションクリティカルなアプリケーションに信頼性の高いワイヤレス接続を提供し、スループットが高く、容量が大きく、デバイス干渉が少ない、信頼性と安全性の高いネットワークを実現します。Catalyst IW9167E は、トライ無線およびトライバンド (2.4/5/6 GHz 帯域) をサポートしている、シスコ初の屋外 Wi-Fi 6E 対応アクセスポイントです。Catalyst IW9167E は、Wi-Fi (Control And Provisioning of Wireless Access Points (CAPWAP)) モードまたは Ultra-Reliable Wireless Backhaul (URWB) モード、およびシスコスタイルのパラーサーをサポートするように設計された Catalyst IW9167E に関連する URWB ソフトウェアで動作できます。

Cisco Catalyst IW9165 の概要

Catalyst IW9165 では、2つの 2x2 Multiple Input and Multiple Output (MIMO) と 2つのイーサネットポート (2.5 mGig および 1G) により、最大 3.6 Gbps の PHY データレートがサポートされています。Catalyst IW9165 は、シームレスなハンドオフ、低遅延、高可用性を実現する、Cisco Ultra-Reliable Wireless Backhaul (URWB) を使用します。Catalyst IW9165 は、6 GHz 帯域への拡張を活かしてより信頼性と安全性の高いネットワークを構築し、スループットと容量を増大しつつもデバイスへの干渉を軽減するように設計されています。Catalyst IW9165 には、ハードウェアを変更することなく、ワークグループブリッジ (WGB) または URWB モードで Catalyst IW9165 を動作させるためにソフトウェアを更新するだけで、イメージを切り替えるオプションがあります。

Catalyst IW9165 シリーズには、次の 2 つのモデルがあります。

- Catalyst IW9165E 高耐久性アクセスポイントおよびワイヤレスクライアント
- Catalyst IW9165D アクセスポイント

Cisco Catalyst IW9165E 高耐久性アクセスポイントおよびワイヤレスクライアント

Catalyst IW9165E は、外部アンテナを備えた 2x2 Wi-Fi 6E 設計をサポートしていて、移動する車両やマシンに超高信頼ワイヤレス接続を追加するように設計されています。低消費電力、堅牢な IP30 設計、小型フォームファクタにより、Catalyst IW9165E は産業資産に非常に簡単に統合できます。

Cisco Catalyst IW9165D アクセスポイント

Catalyst IW9165D は、内部アンテナと外部アンテナを備えた 2x2 Wi-Fi 6E 設計をサポートしていて、ワイヤレスバックホールの展開を簡素化するように設計されています。Catalyst IW9165D は、耐久性の高い IP67 と内蔵の指向性アンテナを使用して設計されていて、光ファイバを使用できない場所での長距離、高スループットの接続が可能になるため、固定ワイヤレスインフラストラクチャ（ポイントツーポイント、ポイントツーマルチポイント、メッシュ）の構築だけでなく、沿道や沿線でのモバイルデバイスからのトラフィックをバックホールすることもできます。外部アンテナポートを使用すると、必要に応じてネットワークを新しい場所にすばやく拡張し、ユースケースと導入アーキテクチャに基づいて適切なアンテナを選択できます。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。